

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月16日

青森県知事 殿

提出者

住 所 仙台市青葉区本町一丁目7番1号
氏 名 東北電力ネットワーク株式会社
総務部長 浅黄 真孝

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 022-799-3105

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東北電力ネットワーク株式会社むつ電柱置場他計12事業場
事業場の所在地	青森県むつ市港町15他
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	電気業
②事業の規模	資本金 240億円
③従業員数	6,636人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"> ・がれき類（古コンクリート柱） 再生処理業者へ委託→再生砕石として再資源化 ・ガラス・陶磁器くず（碇子屑） 再生処理業者へ委託→原料として再資源化 ・廃プラスチック屑 再生処理業者へ委託→原料として再資源化 ・木くず 再生処理業者へ委託→原料として再資源化

（日本工業規格 A列4番）



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
	排 出 量	60.06 t	182.73 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
	排 出 量	54.00 t	164.40 t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 確実な分別で他の廃棄物が混入しないように保管を行う
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状に同じ

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和 6 年度）実績】				
産業廃棄物の種類	コンクリート片	木くず	-	-
排 出 量	3,360.07 t	50.29 t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	コンクリート片	木くず	-	-
排 出 量	3,024.00 t	45.20 t	- t	- t

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

(第3面)ー2

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	木くず	-	-
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	木くず	-	-
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	木くず	-	-
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	木くず	-	-
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和 6 年度）実績】		
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
全 処 理 委 託 量	60.06 t	182.73 t
優良認定処理業者 への処理委託量	28.20 t	182.73 t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	60.06 t	182.73 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t
(これまでに実施した取組)		
再生利用業者へ処理を委託し、再資源化・有効活用		

(第4面) - 2

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	木くず	-	-
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	木くず	-	-
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	木くず	-	-
全処理委託量	3,360.07 t	50.29 t	- t	- t
優良認定処理業者 への処理委託量	698.76 t	50.29 t	- t	- t
再生利用業者への 処理委託量	3,360.07 t	50.29 t	- t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
	全処理委託量	54.00 t	164.40 t
	優良認定処理業者への処理委託量	25.30 t	164.40 t
	再生利用業者への処理委託量	54.00 t	164.40 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		
	現状に同じ		
※事務処理欄			

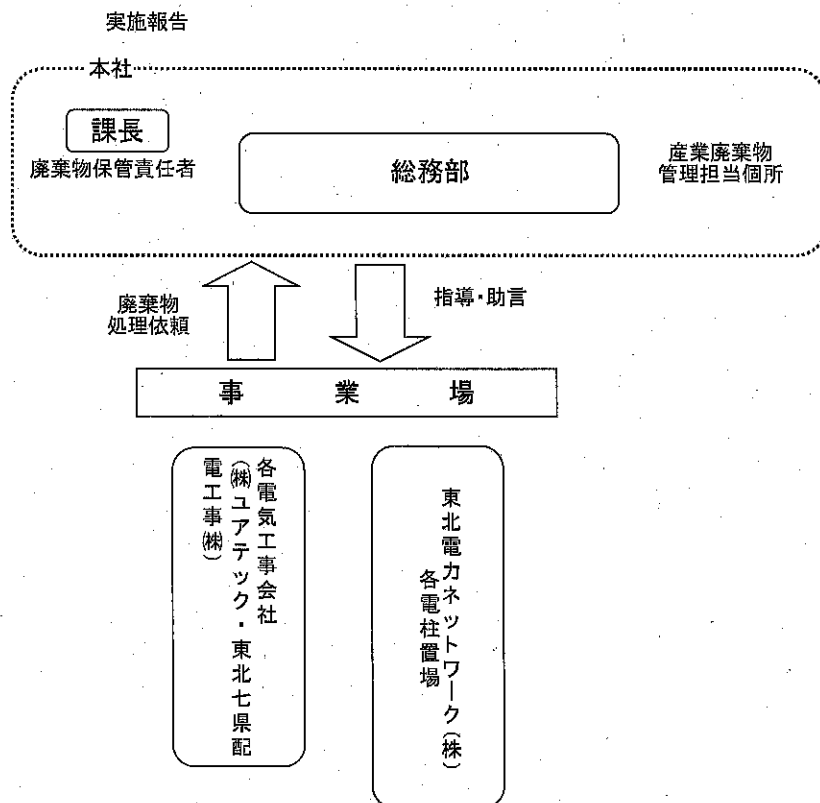
(第5面) - 2

【目標】				
産業廃棄物の種類	コンクリート片	木くず	-	-
全 処 理 委 託 量	3,024.00 t	45.20 t	- t	- t
優良認定処理業者 への処理委託量	628.80 t	45.20 t	- t	- t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	3,024.00 t	45.20 t	- t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

廃棄物管理責任者	所 属：東北電力ネットワーク（株）総務部 役 職：部 長
廃棄物管理担当個所	組 織 名：東北電力ネットワーク（株）総務部（総務）
廃棄物管理担当者	組 織 名：東北電力ネットワーク（株）総務部（総務）
産業廃棄物 保管責任者	所 属：東北電力ネットワーク（株）総務部（総務） 役 職：課 長
廃棄物保管担当	組 織 名：東北電力ネットワーク（株）総務部（総務）



産業廃棄物処理計画書の〔入力支援用シート〕

提出年度 令和 7 年度

←提出年度の数字をご記入いただくと、様式の第2面にある「前年度実績」の年度に反映されます。

業 種	現状/計画	入出量	産業廃棄物の								
		(A)	B 自ら再生利用 行った量 (C)	D 自ら熱回収を 行った量 (E)	F 自ら中間処理により 減量した量 (G)	H 自ら中間処理により 減量した量 (I)	J 中間処理及び 最終処分委託した量 (K)	L 委託先処理業者 への委託処理量 (M)	N 委託先処理業者 への委託処理量 (O)	P 委託先処理業者 への委託処理量 (Q)	R 委託先処理業者 への委託処理量 (S)
産業廃棄物の種類	前年度実績 / 今年度の計画	当該事業場にお いて生じた産業廃 棄物の種類ごとの 量	Aの量のうち、 自ら再生利用し た量	Aの量のうち熱 回収を行った量	Aの量のうち、自ら 中間処理により減量 した量	Aの量のうち、自ら 中間処理により減量 した量	中間処理及び 最終処分委託した 量	Fの量のうち、優良 認定処理業者への 委託処理量	Fの量のうち、優良 認定処理業者への 委託処理量 (I, Jを除く)	Fの量のうち、認定熱 回収施設設置者で ある処理業者への 委託処理量	Fの量のうち、認定熱 回収施設設置者 以外の熱回収を行 っている処理業者 への委託処理量
廃プラスチック類	現状	60.06					60.06	28.2	60.06		
	計画	54					54	25.3	54		
ガラス陶磁器等くず	現状	182.73					182.73	182.73	182.73		
	計画	164.4					164.4	164.4	164.4		
コンクリート片	現状	3360.07					3360.07	698.76	3360.07		
	計画	3024					3024	628.8	3024		
木くず	現状	50.29					50.29	50.29	50.29		
	計画	45.2					45.2	45.2	45.2		
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
合計	現状	3653.15	0	0	0	0	3653.15	959.98	3653.15	0	0
	計画	3287.6	0	0	0	0	3287.6	863.7	3287.6	0	0